

会 議 録 (概 要)

会 議 の 名 称	岩出市都市計画マスタープラン策定委員会（第3回）		
開 催 日 時	令和4年11月25日（金）	開会	午前10時25分
		閉会	午前11時15分
開 催 場 所	岩出市役所 特別会議室		
議 事 進 行	仁藤委員（委員長）		
出 席 者	仁藤委員、岸谷委員、川端委員、松見委員、長岡委員、長谷委員、小村委員、地濃委員、福井委員（代理：原）、宮本委員、藤本委員、黒井委員		
欠 席 者	臂曲委員、北田委員、家原委員、松下委員		
会 議 事 項	1) 「岩出市都市計画マスタープラン（地域別構想及び実現化の方策）」について 2) 今後のスケジュールについて		

○議案説明	
事務局	事務局より、「岩出市都市計画マスタープラン（地域別構想及び実現化の方策）」について説明
○意見等	
A 委員	高齢者用スポーツ施設について、具体的な場所や完成予定時期はいつか。また、新たに設置する目的は。
事務局	施設の位置は、紀の川左岸、岩出橋南詰辺りの河川敷において、令和6年3月頃の開園に向けて事業中で、設置の目的は、周辺の運動施設や公園と併せての生涯スポーツの振興としている。
B 委員	道路の環状化を進める理由と具体的な方法について。
事務局	市の現状として、小規模な宅地開発が多く、分譲地ごとの行き止まり道路が増加しているため、日常生活の機能向上や災害及び緊急時の安全・安心を確保するため、道路の環状化を推進している。 具体的施策としては、現在事業中の主要幹線道路を結ぶ市道金屋荊本線の整備促進と、開発指導による新規分譲開発時の既設道路との接続を実施している。
C 委員	「農地と住環境の調和」とあるが、具体的な農業面での施策は記載しないのか。
事務局	本マスタープランでは、「農地と住環境の調和」について、「農住共生ゾーン」を設定したうえで、都市計画に係る施策として、「農地転用の適正運用」や「開発指導による住環境の保全」などを記載している。なお、上位計画である長期総合計画には、奨励作物など農業振興の視点の記載がある。
C 委員	各地域別に特色を活かした「まちづくり像」などを示したほうが一般市民の方にもわかりやすいのではないか。
事務局	地域別の「まちづくり像」については、全体構想でも「まちの将来像」や「都市づくり目標」を設定しているため、地域別構想には設定していない。今回の意見を踏まえ、地域別での記載について検討する。
C 委員	全体構想と地域別構想で繋がっていない事業がある。 (無電柱化、和歌山打田線の歩道整備、土砂災害等の軽減対策など)
事務局	全体構想と地域別構想の施策の繋がりについては、整合を図るため、全体構想への追記を行う。なお、追記事項については、次回の委員会で報告する。
C 委員	道路の路線名で、道路法と都市計画法の名称が混合しているところがある。道路法で統一してはどうか。
事務局	路線名については、基本的に道路法で統一しているが、岩出駅から市役所の至る道路のみ、県道と市道を併せた道路であるため、都市計画法上の名称である「都市計画道路岩出駅畑毛線」としていた。 質問のとおり、表記を道路法に統一し、都市計画法の名称を括弧書きすることとする。